

2011年8月号

「統合失調症」ってどんな病気ですか？

「統合失調症」ってあまり聞いたことがないけど、新しい病気ですか？

確かに難しそうな名前だし、普段の生活であまり聞くことが無い病名かもしれません。それもそのはずで、以前は「精神分裂病」と呼ばれていた病気のことで、2002年に変更された新しい病名だからです。「精神分裂病」という病名の与える強烈なインパクトのために偏見を感じる方も少なくなかったため、就労などの上で病名の与える障害が大きく、社会参加する上で病名そのものがハードルとなっていました。そのため実態とそぐわないと病名が変更になりました。

それでどんな病気なの？

年齢的には10代から30代くらいまでの比較的若い方に起こりやすく、性格的にひがみっぽくなったり、怒りっぽくなったりして周りとの協調性がなくなります。また言っていることが奇妙だったり、現実にとぐわなない考えをかたくなに信じたりするなどして、徐々に周囲から孤立する傾向にある病気です。時に「幻聴」といって、聞こえるはずの無い人の声や、音などが聞こえるようにもなります。

さらには「妄想」といって、非現実的な考えを信じるようになり、その結果周囲とのトラブルが起こることも少なくありません。

どんな人になるんですか？

残念ながらこの病気に関しては、いまだにハッキリとした原因が分かっていません。ただ言えることは、だいたい100人に1人くらいの割合で、自然に発症するということが言われています。

なった場合は治せますか？

常に新しい薬が開発されています。最新のものは昨年出たばかりのものもあります。きちんと治せば自立した社会生活や就労が可能です。病気は早期発見早期治療が鉄則。この病気も時間が経ってしまうと治療が困難になります。お薬を飲まずに自然治癒することも期待できません。精神科に行くことをためらって、治療開始が遅くならないように早めの治療を開始されることをお勧めします。